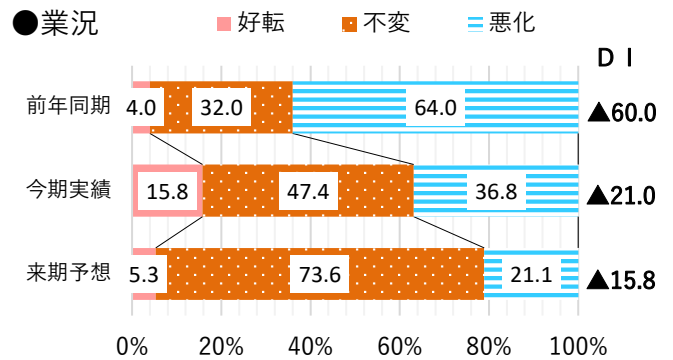


# 卸 売 業

## 業況、売上、採算

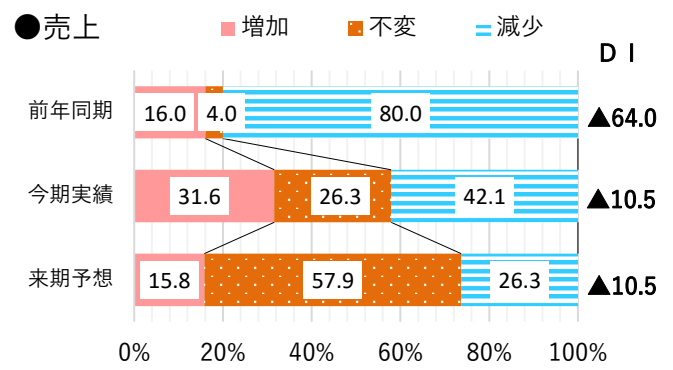
今期(2021.7～9)の業況判断DIは▲21.0で、前年同期(2020.7～9)と比べ39.0ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期(2021.10～12)は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



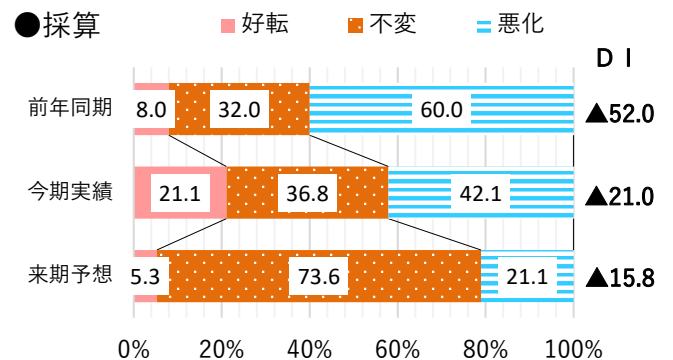
今期の売上DIは▲10.5で、前年同期と比べ53.5ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上の横ばいを予想しています。

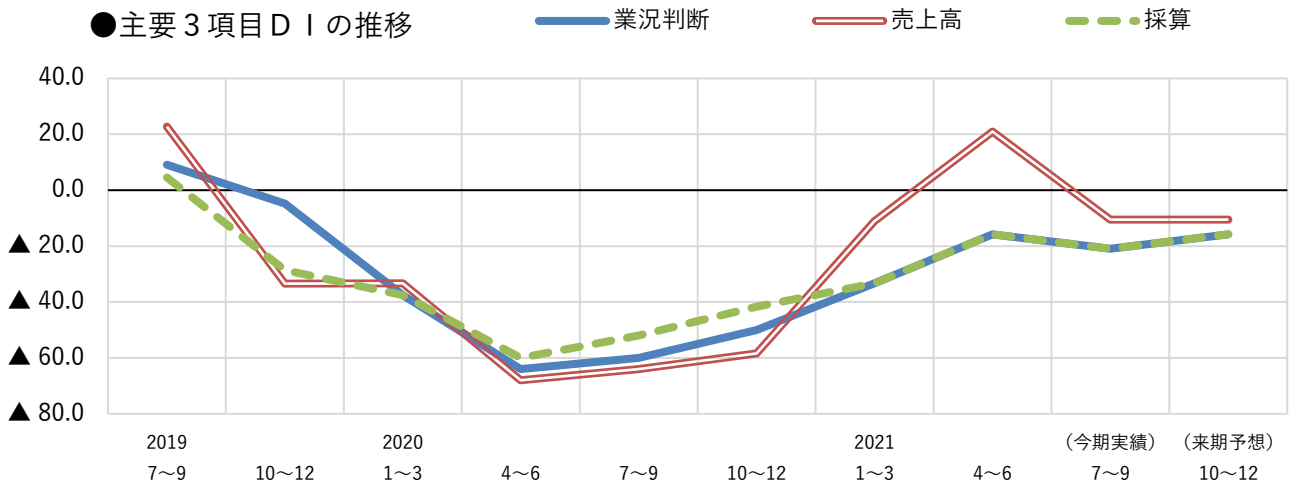


今期の採算DIは▲21.0で、前年同期と比べ31.0ポイント上昇し、大幅に好転しました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



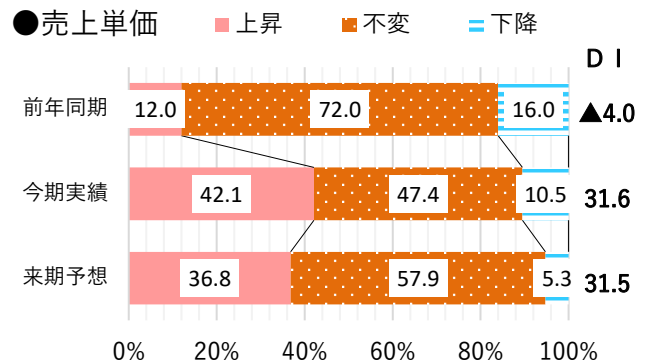
●主要3項目DIの推移



## 売上単価、商品仕入単価

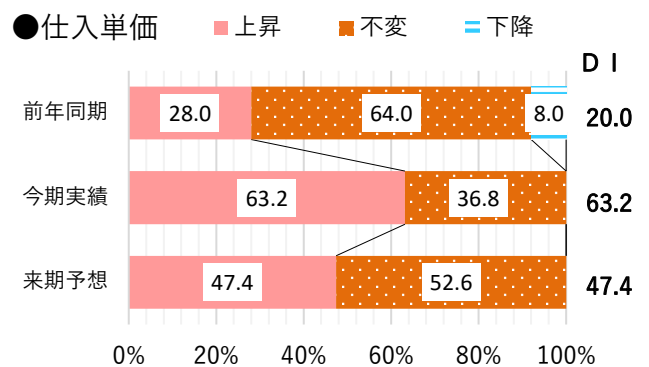
今期の売上単価DIは31.6で、前年同期と比べ35.6ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、売上単価の上昇傾向に大きな変化はないと予想しています。



今期の仕入単価DIは63.2で、前年同期と比べ43.2ポイントと大幅に上昇しました。

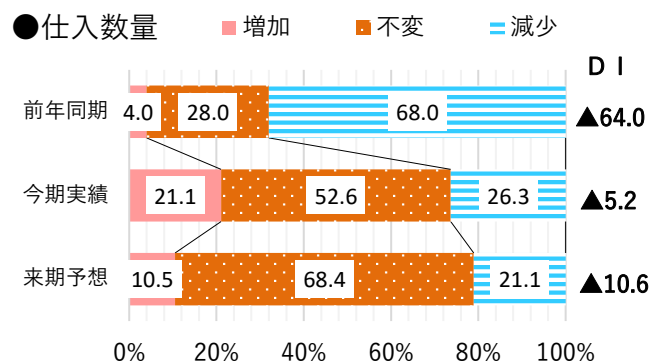
来期は、仕入単価の上昇傾向が続くと予想しています。



## 商品仕入数量、商品在庫数量

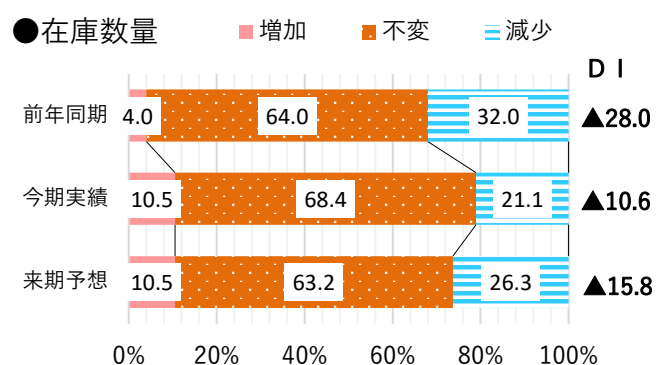
今期の仕入数量DIは▲5.2で、前年同期と比べ58.8ポイント上昇し、大幅に増加しました。

来期は、仕入数量の減少傾向が続くと予想しています。



今期の在庫数量DIは▲10.6で、前年同期と比べ17.4ポイント上昇しました。

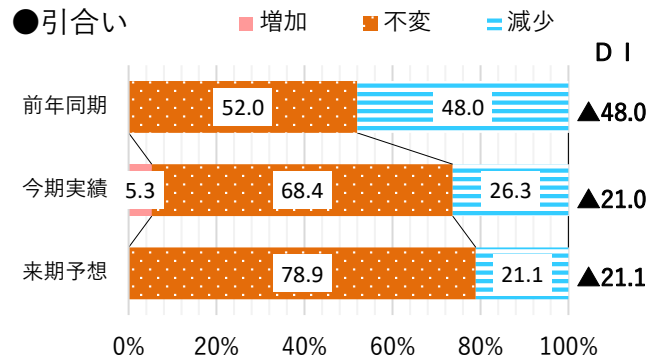
来期は、在庫数量の減少傾向が続くと予想しています。



## 引合い

今期の引合いDIは▲21.0で、前年同期と比べ27.0ポイント上昇しました。

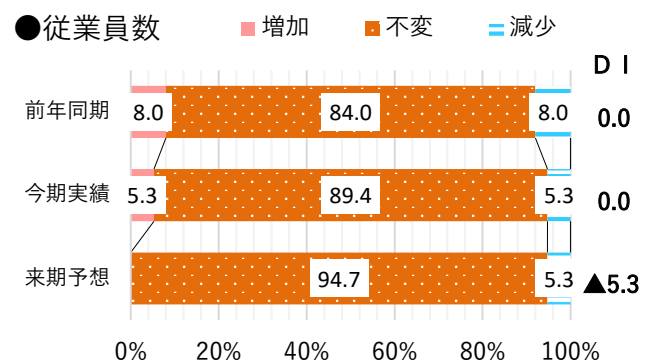
来期は、引合いの減少傾向に大きな変化はないと予想しています。



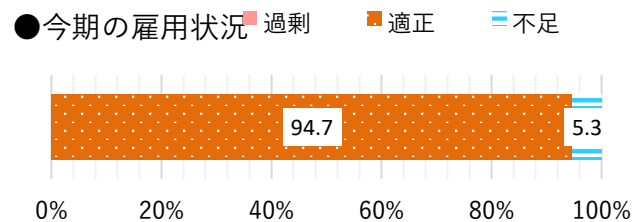
## 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは0.0で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、従業員数がマイナスに転じると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は94.7%、不足していると回答した企業の割合は5.3%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の84.2%を占めています。

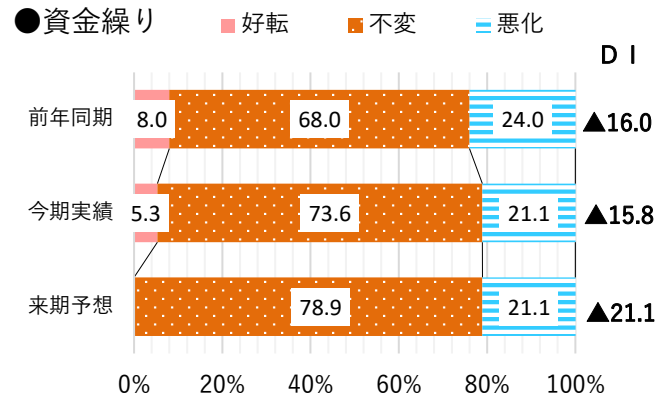
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で増加し、充足している」「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」「従業員数は前年同期比で減少し、充足している」（同位）という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	16
	不足	1
減少した	過剰	0
	適正	1
	不足	0

## 資金繰り、設備投資

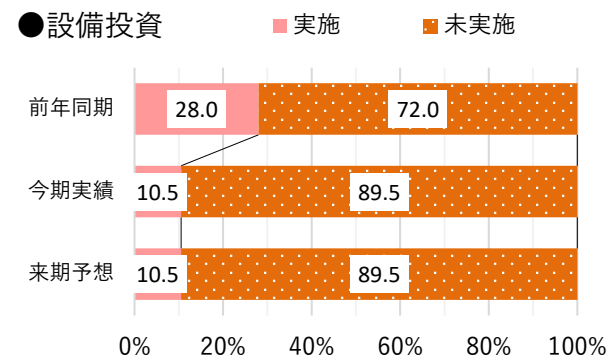
今期の資金繰りDIは▲15.8で、前年同期と比べ0.2ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が続くと予想しています。



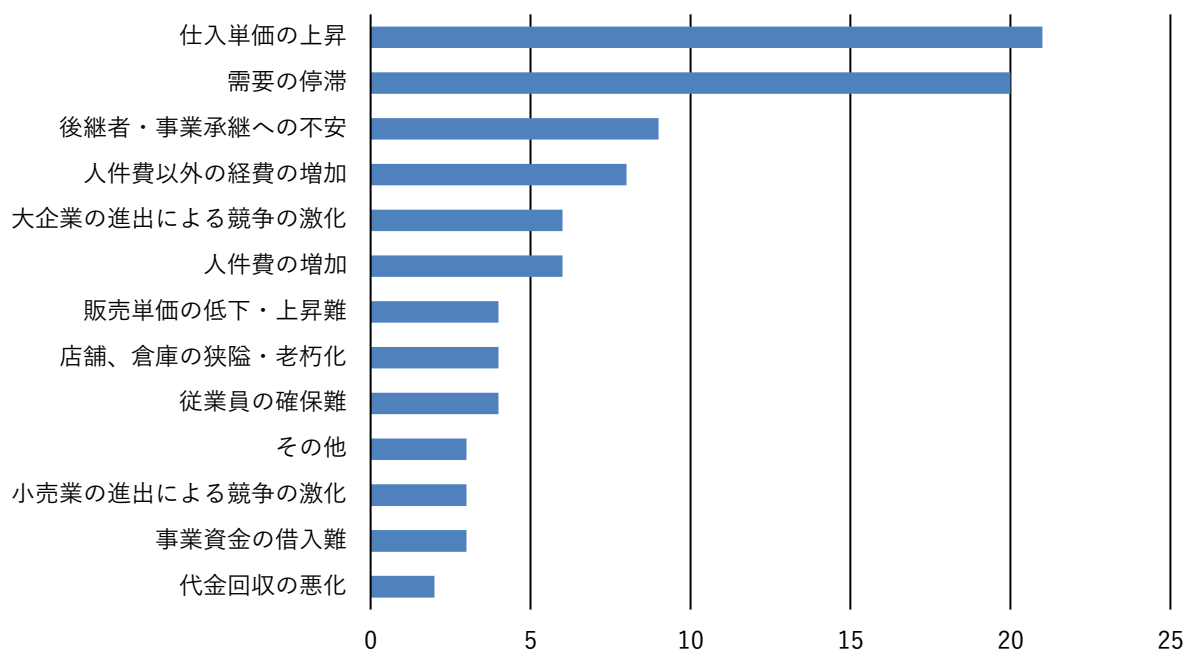
設備投資を実施した企業の割合は10.5%で、前年同期と比べ17.5%減少しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、「OA機器」（同位）でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は10.5%で、横ばいを予想しています。



## 経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「後継者・事業承継への不安」の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 原油価格が前年同期比で上昇しており、仕入単価が上昇した。(石油卸売)
- 建築資材の値上げ分の価格転嫁に苦労している。(建築材料卸売)
- 新型コロナウイルスの感染リスクに悩まされている。早く元の生活が戻ることを願う。(自動車部品卸売)
- 一部入手困難な商品があり、確保に苦労している。(鉱物・金属材料卸売)
- 売上、収益ともに対前年比で1～2割程度プラスとなった。(食料・飲料卸売)
- 新型コロナウイルスの影響で、売上が減少した。(食料・飲料卸売)
- 各月の売上は昨年度を下回った。原油価格の高騰で、全ての商品の価格が上昇した。(産業用機械器具卸売)
- 昨年比の売上は増加し、コロナ禍前まで回復しつつある。(塗料卸売)

## [来期の業況について]

- 原油価格が上昇と下降を繰り返しており、業況は大きく変わらないと思われる。(石油卸売)
- 小樽市内の新幹線工事が本格的に始まり、売上が増加すると思われる。(建築材料卸売)
- 全てにおいて、新型コロナウイルスの状況に左右される。(食料・飲料卸売)
- 冬期用品(スタッドレスタイヤ、スノーブレード等)の売上が増加する。(自動車部品卸売)
- 商品価格の上昇に伴い、販売量が減少すると思われるが、引合い等の状況から判断すると、極端な落ち込みにはならないと思われる。(鉱物・金属材料卸売)
- 仕入単価が上昇するので、上手く販売価格に転嫁できるかが課題となる。(塗料卸売)